

WEEKLY NEWS

Vol.59 第2821回例会

2026.4.2

今年度会長テーマ

P.O.P.



プログラム

入会式

- ① 点鐘：平野会長
- ② 合唱：ソングリーダー：菅原会員
国歌斉唱・奉仕の理想
- ③ 会長挨拶・会務報告：平野会長
- ④ 幹事報告：葛西幹事
- ⑤ 出席報告：横山会員
- ⑥ ニコニコボックス：野村会員
- ⑦ 委員長報告
- ⑧ 卓話
- ⑨ 謝辞・閉会点鐘：平野会長



- 会員数：20名
- 欠席：2名
- 免除者：1名
- 出席率：89.74%
- 出席者：17名
- 3週間前出席率
(修正後)：90.00%

例会日：毎週木曜日 12:30～13:30
例会場：八坂神社 社務所
〒189-0013 東京都東村山市栄町3-25-1

週報作成：クラブ管理委員長 平野 裕明
事務所：〒189-0013 東京都東村山市栄町3-5-1 ハイツむさしの101
URL：https://hm-rc.org/ h.murayama@eagle.ocn.ne.jp
facebook：https://www.facebook.com/HigashimurayamaRC/
TEL 042-393-7500 FAX 042-395-1166



会長：平野裕明
副会長：菅原千穂
幹事：葛西徹
副幹事：野村高章

③会長挨拶・会務報告 平野会長

土曜日、野澤学園に行く機会がありました。大ホールの入口には、四つのテストの額が飾ってあります。そして、野澤学園の始まりを聞くことができました。都市の農地改革の際に、農地を娯楽施設のするのではなく、社会貢献に役立てようと野澤学園が始まりました。ロータリーの社会奉仕に目を向けてみると、始めは小さな活動が、大きな流れを生み出したものがあります。神田駅前の神田駅前のたばこのポイ捨て禁止運動です。最初は、地味な活動だったと思います。千代田区では、平成11年にいわゆるポイ捨て禁止条例が始まり、平成14年には罰則付きの生活環境条例が施行、さらに平成22年には路上禁煙地区が区内全域へ拡大。ポリオの根絶活動も麴町の2名の活動から始まったものが今や世界中のロータリーを巻きこむだけにはとどまらずWHOなども巻き込んだ活動になっています。今年度が予算の関係で、大きな奉仕活動はしませんが年度当初言いましたが、次年度以降、何か活動が出来ればと願っております。

④幹事報告 葛西幹事

- ・EAYEN年次大会2026の案内について
- ・東アジア青少年交換ネットワーク(EAYEN)@台湾
- ・台北国際大会における米山奨学会分科会ブース出展
- ・米山記念奨学事業をテーマとする分科会の開催、ブースの出店あり。
- ・第2580地区RLI：FTラーニングセミナー開催の案内
- 5/29(金)13:30~16:55
- ・@国立オリンピック記念青少年総合センター
- ・第5回現・新多摩グループ連絡会報告書メット4/3(金)

[回覧]

ガバナー月信/コーディネーターニュース/米山梅吉館報

⑥ニコニコBOX 野村会員



- ◆平野会長・葛西幹事：昨日は理事役員会お疲れ様でした。桜もそろそろおわりですね、皆様お花見はされましたか？
- ◆野村会員：菅原年度、皆さんで頑張りましょう。よろしくお願ひします。

- ◆北久保会員：会長エレクト菅原千稲さん、セミナー報告よろしくお願いいたします。
- ◆鈴木会員：3月は議会でご無沙汰してしまいました。本日から再度頑張ります。長男が東京都庁に入庁しました。地域発展のために頑張らせたいと思います。

合計：26,000円 累計：915,000円

■誕生祝い月：當麻会員



■結婚祝い月：鈴木会員



⑦委員長報告

■鈴木会員研修副委員長

「ロータリーの友」より事例学習（女子プロレス団体経営者、介護・グループホーム経営者、藤野会員の事例）。上からの指導ではなく具体的・協働的な学びの重要性を共有。藤野会員講話機会の創出を示唆。

- 結論：経営・指導の具体性と協働の重要性を共有、会員講話機会の検討。

■當麻プログラム委員長

歴史的意義（決議23-34、アトランタ基金、ロータリー財団組織化）と参加推奨。規定審議会は分離開催。2028年度規定審議会の2580地区委員決定済み。

- 結論：国際大会の重要性を確認し参加を推奨。

⑧卓話

■卓話者紹介：當麻会員

会長エレクト ラーニングセミナー報告

■卓話者：菅原千稲次年度会長



▶次年度RI会長方針「持続可能なインパクトを生み出そう」。重点事項：ポリオ根絶、平和推進、会員増強とクラブ活性化、インパクト重視の報告。セミナー内容共有。

- 結論：次年度方針の理解共有とクラブ運営への示唆を確認。

▶「選ばれるクラブ」への視点

外部からの見え方の省察、名門例（小金井CC、京都南RC）を参照。名門化ではなく価値訴求の明確化を重視。「会員増強」より「仲間を増やす」という言い方を推奨。

- 結論：外部視点と価値訴求で選ばれるクラブ像を目指す。

▶面接の位置づけと入会プロセス

面接は選別だけでなく価値体験の場。面接後1週間の熟考期間を設け、合格通知の体験が誇りにつながる。圧迫ではなく温かな面接を検討。

- 結論：計画的な面接と待機期間で帰属意識と誇りを醸成。

▶居心地の良いクラブ文化づくり
新会員＝種、クラブ文化＝土壌、寛容・公平な心＝水の
比喩。居心地の良さで定着促進。

- 結論：文化と関わりの両面で新会員の成長を支える
仕組みが必要。

▶退会の本質と対応

退会は蓄積の結果。発言機会の欠如、役割不在などの
不満を早期検知し、発言機会・役割付与・声掛けで防
止。

退会理由データ：1位 経済・時間負担（例会形式工夫、
回数・出席見直し、会員種別多様化と会費設定）、2位
環境・文化不適合（発言機会・関与増加）、3位 期待
不一致。

- 結論：柔軟な制度設計と関わり増加で負担と孤立を
軽減。

▶地区2580の次年度運営方針

目標：純増125名で地区会員数3300名へ。入会3年未
満・10年生の同期ミーティング、多様なクラブ種別創
設、インパクトある奉仕（ポリオ撲滅プロギング）推
奨。ファミリー重視、地区リソース活用、11月の合同
例会（立体映画ホスト校）予定。

- 結論：増強と退会防止の両輪で多様性・連携・社会
的インパクトを強化。

▶次年度クラブのキャッチコピー

テーマ：「再出発」。創立60周年の節目に初心へ回帰
し文化と活動を刷新。

- 結論：記念年にふさわしい再出発を掲げる。

▶次年度方針「クラブの原点と歩みを見つめ直し、内
側を充実」

外向き施策より会員体験と内部運営の充実を優先し、
持続可能な基盤強化を図る。

- 結論：内向き強化と基盤整備に注力。

▶夜間例会の再開

昼間参加が難しい会員への配慮として一般夜間例会の
再開を検討。

- 結論：再開に向け検討開始。

▶新入会員カウンセリング制度の実施強化

紹介者に限らず話しやすいさを重視して担当設定。早期
メイクアップ同行でクラブ外の広がりを経験。

- 結論：カウンセラー指名とメイクアップ同行を早期
実施。

▶会員相互理解のための3分スピーチ枠

仕事・活動・趣味・ロータリー観を共有する枠を例会
内に設置。現行の時間構成を見直し。

- 結論：例会プログラム再設計を前提に導入検討。

▶多様な会員種別の検討

クラブ目標・理事会言及に基づき、種別多様化を次年
度も継続検討。

- 結論：検討課題として継続。

▶他クラブとの交流強化

東京東大和RCとの合同例会など、定期的な交流で人脈
と学びを拡大。

- 結論：具体化に向け調整継続。

▶多摩グループ「ポリオ撲滅ごみ拾いラン」企画

都立公園内で実施予定（狭山公園候補）。東村山のポ
リオ研究所レガシーと連動した発信・ルート設定を提
案。記念碑等の広報・地域連携の可能性。

- 結論：レガシー活用の方向性を好評価、場所確定後
に具体化検討。

▶グローバル奉仕活動への参画

海外の学校建設・井戸掘りなどを多摩グループ全体で
複数年度計画として推進。

- 結論：グローバル奉仕への参画方針を確認。

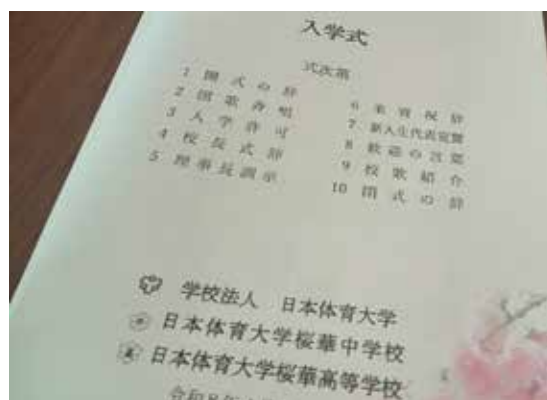
◎謝辞・閉会点鐘：平野会長

現・新年度合同多摩グループ連絡会



4/5(日)に掬水亭にて2025-26年度 現・新年度合同
多摩グループ連絡会が開催されました。平野会長、葛
西幹事、菅原会長エレクト、野村幹事エレクト、菱沼
事務局が出席致しました。翌日、西武園ゴルフ場にて、
平野会長、田中ゴルフ部長が親睦ゴルフに参加致しま
した。

日体桜華入学式



4/7(火)に日本体育大学桜華中学校・高等学校の入学
式に平野会長が出席致しました。

スケジュール

- 4/10(金) ポリオ根絶チャリティーゴルフ大会
(在京)
- 4/17(金) クラブ・リーダーシップ・ラーニン
グセミナー@ホテル椿山荘
- 4/18(土) 14:00 RYLAセミナー報告会 兼 学友会
@文京学院本郷キャンパス
- 4/24(金) ポリオ根絶チャリティーゴルフ大会
(沖縄)
- 5/17(日) 13:00 地区ローターアクト年次大会
@タワーホール船堀
- 5/21(木) 15:30 多摩グループ合同例会
@ホテルエミシア東京立川
- 5/29(金) 9:52スタートTRCゴルフコンペ
@武蔵丘ゴルフコース
- 6/4(木) 16:00 クラブ活性化ワークショッ
プ@損保会館 大会議室
- 6/29(月) 18:00 地区納めの会
@浅草ビューホテル